

# 日通ファミリーコンサート スペシャル対談

# 次世代に伝えたい日本の童謡

美しい日本の心を歌い継ぎ、多くのファンを魅了している由紀さおりさんと安田祥子さん。今年は二人が童謡コンサートを始めて20年になります。美しい日本語と豊かな表現をもつ童謡の魅力について、お二人と齋藤孝さんにお話していただきました。



明治大学文学部教授  
**齋藤 孝**さん  
さいとう・たかし  
1960年生まれ。東京大学大学院を経て現職。専門は教育学、身体論、コミュニケーション論。2001年に出版した「声に出して読みたい日本語」で、言語と感性の関係を鋭く分析し話題を呼び、齋藤メソッド、教師セミナー主宰。近著に「弥次さん喜多さんのお笑いにほんご塾」など。

## 日本人の美意識の結晶です

**由紀** 姉と童謡コンサートを始めて今年で20年になります。そもそも、なぜ童謡を歌い始めたかというところ、幼いころから日本の唱歌を歌ってきた最後の世代として「いま私たちが歌わないと誰が日本の歌を引き継ぐの？」という危機感があったからなんです。私自身、由紀さおりの歌の世界に行き詰まりを感じ、オーケストラで自分の歌探しを！と企画したとき、オーケストラをバックに歌うなら「お姉ちゃんと一緒にやったら？」と母から助言をもらって。

**安田** 歌謡曲出身の妹と、西洋のクラシック音楽出身の私が一緒になったので、「パトルコンサート」(笑)。意外にもそこで児童合唱団にいたときからの私たちの活動を知っているというお客様から、大人になった私たちの童謡をもっと聴きたいという声を数多くいただき、続けていくことになったんです。有楽町にある朝日ホールで歌ったのが始まりだったのよね。

**由紀** そう。私は歌謡曲の歌手としてスタートしたけれど、20年前の当時は、電子音ばかりになっていて。決まったテンポで歌うのは確かに気持ちいいけれど、雨の日には雨の日の、お天気の日にはそれなりの、肌で感じる音があると思うのね。その微妙な日々の温度差と人の呼吸で変わる歌を残したいと思っただけです。

**齋藤** 美意識に訴えかけるものですよ。日本語は一言ずつ何かしらのイメージをもっています。「ち」の音だけでも、「地」「血」「乳」のどの漢字にも当てはまる。だから、単語一つとってもそこには日本人の美意識が流れ込んでいるし、その言葉を聞いたときに原風景を共有できるというのが日本語の美しさだと思います。童謡にはそういう美しい日本語がたくさん使われていますよ。

**由紀** 昔はよく暗唱させられたんですよ。歌であれ詩であれ、声に出すことで体に染み込みやすくなるんですね。高村光太郎の『智恵子抄』に「モン哀歌」という詩があって、「がりとりと囃んだ」というくだりが出てくるのですが、「がりと」という音は声に出してみることで感覚として伝わってくるものがある。「ああ、こういうことか」と。

## 記憶を呼び覚ます力があります



歌手  
**由紀さおり**さん  
ゆき・さおり  
小学生時代、ひばり児童合唱団に所属、童謡歌手として活躍。1968年、「夜明けのステッキ」でデビュー。爆発的なヒットとなる。84年、映画『家族ゲーム』に出演、日本アカデミー賞助演女優賞を受賞。ドラマ、映画に女優としても活躍。来春公開映画『魂萌え!』(阪本順治監督)に出演。

**安田** しかも、そうやって覚えたものは忘れないんですよ。年配の方でも、昔覚えた歌は最後までですら歌えるという方が大勢いらっしゃるんですよ。

**由紀** 私たちの童謡コンサートが20年続いた理由の一つに、私たちの思いだけで歌うのではなく、聴く方が歌に入り込める余地を大切にできたからということがあると思います。私たちの思いを塗りこんだ「赤とんぼ」ではなく、三木露風と山田耕作の「赤とんぼ」を歌うという

**安田** だからステージをご覧になった方は「墨絵のようね」とおっしゃるんです。それぞれが思い浮かべる風景があつて、その世界に色を塗るのは聴く方一人ひとりなんです。

**齋藤** お二人の童謡コンサートは、聴く側の記憶を呼び起こすのでしょ。たとえば「故郷」の歌詞に「甕追ひしかの山」とありますが、そこで思い浮かべるのは必ずしも甕を追う場面ではないんです。自分の子ども時代なんですよ。だから、もしも聴衆の一人ひとりが心に思い浮かべた風景を映し出す特殊な機械がある

つたら、それこそ百花繚乱ですね。  
**由紀** そうですね。故郷といっても、思い起こすものはみんな違うはず。歌を残して散った兄を思う人、千曲川を思う人、そのとき一緒に遊んだお友達を思う人、母を思う人。心の中に大切にしまっていたものが、歌によって呼び覚まされていくんです。

## 童謡は日本人の心のふるさとして



声楽家  
**安田祥子**さん  
やすだ・さちこ  
小学生時代、ひばり児童合唱団に所属、童謡歌手として活躍。東京芸術大学大学院修士課程修了。1966年、オペラ「フィガロの結婚」スザンナ役でデビュー。NYジュリアード音楽院、ロチェスター・イーストマン音楽院に学ぶ。ソロコンサートは、母から子に伝えたい歌等、あたたかいステージに定評がある。

**由紀** 私は童謡を歌っていると色がパッと出てくる。最初に覚えたときに自分の脳裏に浮かんだ絵が何枚かあるとしたら、そのうちの一枚は歌っているときに必ず出てくるのね。だから、本物を見たことがなくても、イメージをふくらませるだけでもいいと思うの。私たちが初めて全部意味がわかって歌っていたわけではない。

**齋藤** 小さなころに刻みつけられたイメージは、他のものを見るときに美意識の基本にもなりますからね。日本人には論理力が足りないといふ言われますが、実はビジネスの世界でも一番大切なのは情

**由紀** 「ふるさと」と聞いて今の子どもたちが思い起こすことは、もしかしたら長野オリンピックかもしれない。でも、それでもいいのよね。

**齋藤** 中には、童謡で歌われている光景を後から見ることもあるわけですよ。「これがあの歌詞にあった葉の花畑か」と。経験の深さや意味は、それ以前に仕込まれた言葉によって深くなります。だから、自然を見るときに目を、童謡が詩人の感性で教えてくれることになる。

**由紀** 私には童謡を歌っていると色がパッと出てくる。最初に覚えたときに自分の脳裏に浮かんだ絵が何枚かあるとしたら、そのうちの一枚は歌っているときに必ず出てくるのね。だから、本物を見たことがなくても、イメージをふくらませるだけでもいいと思うの。私たちが初めて全部意味がわかって歌っていたわけではない。

緒ではないかと思うんです。人の気持ちをやかに理解できる感性がある方が論理力も育つと思う。だから、小さなころに豊かな言葉に出会う必要があるんです。童謡は、歌詞を作る方の感性だけではなく、メロディーを作る方の感性もあるわけですね。

**由紀** 先人が残したメロディーのつけかたは、日本語のイントネーションをとっても大切にしているんです。一番と二番で使われる単語が異なると、それによってメロディーが変化することもあります。



**安田** はい。これは、私たちが歌ってきた歌の総決算のようなもの。初めての方にも楽しんでいただけるコンサートにしたいと思っています。

**由紀** この国に生まれた者として、美しい日本語を身につけたものですよ。ご家族で童謡に親しむことで子どもたちの情緒を養う一助になればと思います。私たちのコンサートがそのきっかけになればうれしいですね。

日本通運 Presents 由紀さおり・安田祥子 童謡コンサート2000回記念

# Songs With Your Life Concert

～日本の名曲100選～

平成18年度文化庁芸術祭参加公演

### スケジュール

- 11月19日(日) サンシティ越谷市民ホール**  
〈開場〉16:30 〈開演〉17:00 全席指定 S席¥6,500/A席¥5,500(税込み)  
【主催】TBS、(財)越谷コミュニティセンター 【後援】東芝EMI、テレ玉、文化放送  
【企画・制作】フウパブリッシャーズ、オフィス名畑 【提供】フレンド企画  
【お問い合わせ】サンシティホール:048-985-1111/ちけつとぼ:03-5403-3330(10:00~19:00、土・日・祝日を除く)
- 11月21日(火) Bunkamuraオーチャードホール**  
〈開場〉18:00 〈開演〉18:30 全席指定 S席¥6,500/A席¥5,500(税込み)  
【主催】TBS、【後援】東芝EMI  
【企画・制作】フウパブリッシャーズ、オフィス名畑 【提供】フレンド企画  
【お問い合わせ】東京音協:03-3201-8116
- 12月1日(金) 名古屋市民会館大ホール**  
〈開場〉18:00 〈開演〉18:30 全席指定 S席¥6,500/A席¥5,500(税込み)  
【主催】中部日本放送CBC、MIN-ON 【後援】東芝EMI  
【企画・制作】フウパブリッシャーズ、オフィス名畑 【提供】フレンド企画  
【お問い合わせ】MIN-ON 中部センター:052-261-5391

- 12月6日(水) 梅田芸術劇場メインホール(旧梅田コマ劇場)**  
〈開場〉18:00 〈開演〉18:30 全席指定 S席¥6,500/A席¥5,500(税込み)  
【主催】毎日放送MBS 【後援】東芝EMI  
【企画・制作】フウパブリッシャーズ、オフィス名畑 【提供】フレンド企画、ページ・ワン  
【お問い合わせ】ページ・ワン:06-6362-8122
- 12月8日(金) 北海道厚生年金会館**  
〈開場〉18:00 〈開演〉18:30 全席指定 ¥6,500(税込み)  
【主催】TVhテレビ北海道 【後援】東芝EMI  
【企画・制作】フウパブリッシャーズ、オフィス名畑 【提供】プロディース・コーパ、キョードー札幌  
【お問い合わせ】キョードー札幌:011-221-0144
- 12月17日(日) 中野サンプラザホール**  
〈開場〉16:30 〈開演〉17:00 全席指定 ¥6,500(税込み)  
【主催】TBS、東京労働者センター 【後援】東芝EMI  
【企画・制作】フウパブリッシャーズ、オフィス名畑 【提供】フレンド企画  
【お問い合わせ】労働者センター:042-334-8471



【お問い合わせ】安田音楽事務所 〒160-0005 東京都新宿区愛住町18 メゾンブランシュ402 TEL:03-3351-2891 FAX:03-3359-0963 公式ホームページ: <http://www.yuki-yasuda.com/>